

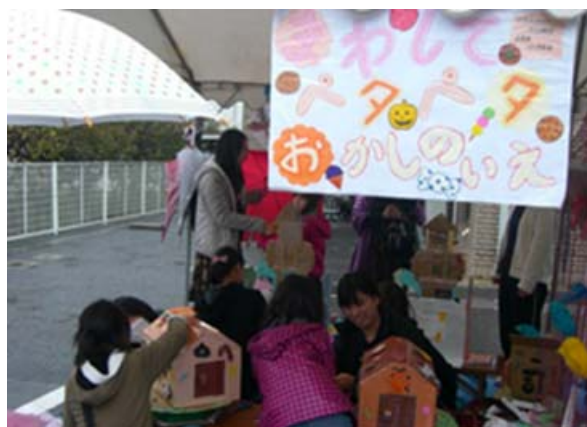
活動名		団体名	安地区まちづくりプランプロジェクト「おとなりさん」
安地区まちづくりプランプロジェクト「おとなりさん」		地域	広島県広島市
		代表者	代表 和気知美
		支援金額	15万円
活動概要	<p>「おとなりさん」は、平日の放課後や休日の子どもたちの居場所づくりを主な目的とし、近隣の大学生が運営スタッフとして活動しています。現在は、広島市安公民館で大学生スタッフと子どもたちがトランプやカルタなどのゲームや折り紙、工作などをしたり、子どもたちに勉強を教えたりしています。また、子どもたちの体験活動の場を広げるために、大学生スタッフが設定したテーマをもとにスポーツ大会などのイベントを開催しています。おとなりさんでは、スタッフと子どもたちとの交流だけでなく、スタッフ同士、子ども同士の交流が行われているほか、安ふれあい祭りなどへも積極的に参加して、地域との交流も深めています。</p> <p>◆実施時期 2012年4月1日～2013年3月31日 広島市安公民館</p> <p>◆参加人数 子どもと大学生スタッフの交流活動…1日あたり5～10名 母の日キャンペーン…35名 父の日キャンペーン…32名 10周年記念イベント…88名 ハロウィンイベント…46名 公民館祭り…317名(重複あり) スタッフ研修…44名 クリスマスイベント…38名 お正月キャンペーン…30名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:598(重複あり)</p>		



10周年記念イベント(スポーツ大会)
イベント終了後全スタッフが集まっての記念撮影



公民館祭りにて。テーマは「絵本の世界」。スタッフ手作りのゲームを子どもたちに体験してもらいました



公民館祭りにて、お菓子の家のパズル。決められた時間内で完成させようと、子どもたちの顔は真剣!



スタッフ研修にて。2日間を終えての記念撮影。スタッフ間の仲や子どもたちに対する思いも深まった

◆実施に伴う効果

- ・イベントや活動を通して、子どもたちだけでなく、地域の方や他団体の方にも「おとなりさん」のことを知ってもらえた。このことにより、ボランティアやお手伝いをさせていただく機会が増え、地域との交流がより深まった。
- ・兄弟や友達を連れてきてくれる子どももいて、学校・年齢・性別を越えて触れ合うことで、学校や家庭とは違った居場所をつくることができた。
- ・「おとなりさん」を自分の居場所として何度も遊びに来てくれる子どもが増えた。
- ・イベントなどを通して「おとなりさん」の活動を知ってもらうことで、保護者の方にも理解してもらえるきっかけが作れた。

◆苦勞した点

- ・異年齢交流を取り入れてきたが、遊びを低年齢の子に合わせてしまうため、年上の子が遊びに満足できなかったり、退屈してしまったりすることもあった。
- ・活動中の子ども同士のトラブルへの対応の仕方に困った。特に、兄弟げんかではどの程度スタッフが入り込むべきか距離感が分からなかった。
- ・スタッフの人数が多いため意思疎通が難しく、共通理解に欠けたところもあった。
- ・同じ大学のスタッフが多いため補講日が重なることがあり、活動をキャンセルしなければならないこともあった。
- ・イベント当日に急遽人数が変わることがあり、計画が予定通りにいかないことがあった。
- ・お祭りなどの定員のないイベントでは、子どもの人数の想定が難しかった。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・子どもと大学生スタッフの交流活動の見直しをして、スタッフ自身が遊びのスキルを上げることで、子どもたちの興味・関心を高め、遊びの充実を図る。
- ・活動やイベントの向上のため、話し合いの場を増やすだけでなく、一人ひとりが考える時間を持てるようにする。
- ・活動などで起こったトラブルや出来事は、関わった人たちだけでなく全体でトラブルについて把握し、トラブルの対応の仕方を考え次に活かせるようにする。
- ・様々な意見や考えを取り入れるため、他大学や他学科の人にも「おとなりさん」を知ってもらう機会を作る。

◆活動を終えての感想・意見等

頂いた支援金はスタッフ研修と棚の購入に使用させていただきました。スタッフ研修では、普段自分たちだけでは経験することのできないレクリエーションや野外炊飯を通して、知識を増やしたり、仲間との仲を深めたりすることができました。この貴重な体験を将来子どもと関わるなかで活かしていきたいと思えます。また、棚を購入したことで制作物や活動で使用している物の保管がしやすくなり、子どもたちに提供する遊びが増えました。1年間の活動を通して、たくさんの子どもの喜ぶ姿や笑顔を見ることができました。これからも活動がますます発展していくことができるように頑張っていこうと思います。ありがとうございました。